

CHIBA

へいせい ねんど
平成30年度 マリンサイエンスギャラリー



水辺の外来生物

ぼう そう うみ かわ
— 房総の海と川から —



アメリカザリガニ



チチュウカイミドリガニ



オオクチバス



サキグロタマツメタ

平成31年2月9日 土 ~ 5月6日 月・休



交通

- JR外房線 鶴原駅から徒歩約15分
勝浦駅からタクシーで約10分
勝浦駅から小湊鉄道バス「勝浦駅・ミレーニア」循環線「海の博物館」下車徒歩1分
「海中公園」行き終点すぐ(土曜日のみ)
- 自動車 圏央道・市原鶴舞ICから約1時間

ご利用案内

- 開館時間 午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
- 休館日 月曜日(祝日・休日の場合は次の平日)
- 入場料 一般 200円、高校・大学生 100円
中学生以下、65歳以上、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方とその介護者 無料
その他団体割引等の制度があります(お問い合わせください)
- 駐車場 午前8時30分~午後5時15分
普通車2時間まで200円
障害者とその介護者は無料



千葉県立中央博物館 分館
海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821
URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

もともとその地域にはすんでいなかったのに、人間によって他の地域から持ち込まれた生きものを「外来生物」と呼びます。この企画展示では、房総の海と川でみられる外来生物の種類や生活、生態系に及ぼす影響などについて紹介します！



海の外来生物

～千葉県周辺の海にすんでいる外来生物です～



チチュウカイミドリガニ

げんさんち ちちゅうかい
原産地:地中海

ワタリガニのなかまで、県内では東京湾でたくさん見られます。世界中に広がっています。



イッカクワモガニ

げんさんち きた みなみ
原産地:北アメリカ～南アメリカ

脚の細長いワモガニのなかまで、深さ1～80mの砂や泥の海底にすんでいます。東京湾でたくさん見られます。



サキグロタマツメタ

げんさんち こうかい ありあけかい
原産地:黄海、有明海

盤洲干潟などでアサリを食べてしまうことで問題になっています。もともと九州の有明海にもすんでいる貝です。



ホンビノスガイ

げんさんち きた
原産地:北アメリカ

外来生物としては珍しく、重要な水産資源となっている二枚貝で、東京湾奥の三番瀬などで漁獲されます。

川の外来生物

～千葉県の川や池などの淡水にすんでいる外来生物です～



オオクチバス

げんさんち きた
原産地:北アメリカ

「ブラックバス」の名で、釣りの対象として有名です。他の生きものを食べてしまうことで問題になっています。



アメリカザリガニ

げんさんち きた
原産地:北アメリカ

千葉県にはもともとザリガニはすんでおらず、県内で見られるものはほぼ全てアメリカザリガニです。



スクミリンゴガイと卵(矢印)

げんさんち アルゼンチン
原産地:アルゼンチン

九十九里地方を中心に田んぼやその周辺の水路などで増えています。植えたばかりの稲を食べてしまいます。



ミシシippアカミミガメ

げんさんち きた
原産地:北アメリカ

「ミドリガメ」の名でペットとして売られたものが逃げたり、捨てられて、全国各地に広がったカメです。

日本から出て行った外来生物

～日本の生きものが外国で「外来生物」になっています～



ワカメ

いしゆつまき せ かいやくち
移出先:世界各地

日本でなじみの深いワカメは、世界中に広まって、厄介者となっています。



モツゴ

いしゆつまき せ かいやくち
移出先:アジアからヨーロッパ

別名「クチボソ」の淡水魚。千葉県では一般保護生物にもなっています。



ユビナガスジエビ

いしゆつまき せ かいやくち
移出先:世界各地

県内の汽水域に普通に見られるエビです。世界中に広がっています。



ホソウミニナ

いしゆつまき きた
移出先:北アメリカ

県内の海岸に普通に見られます。養殖用のカキに混じって移出されました。

講座「海藻に見る外来生物」

外来生物となっている海藻について解説します。＊磯での観察も含み、保険料50円が必要になります。

日時:平成31年3月10日(日) 12:00～15:00 定員15名 対象:中学生以上

＊事前申込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

関連行事の
ご案内